


子ども食堂 なかぶん

<p>1. 子ども食堂紹介</p> <p>場所：中文化センター 名古屋市中区新栄 3-32-13</p> <p>代表：平野由紀子さん</p> <p>参加日時：2020年1月18日（土）11時から14時</p> <p>参加費：子ども100円（幼児は無料）、大人300円</p> <p>参加人数：60人程（子ども20人程）</p> <p>献立：ビビンバ、ニラと豆腐のスープ、果物</p>	
<p>2. 食材・献立</p> <p>小学校の給食ランキングで上位のビビンバ。小学校の給食を作っているスタッフの方が作られているので、子どもも大人も食べやすい味と量である。大根やにんじん、もやしなど野菜がたくさん入っていて、栄養バランスもとても良かった。小学校で給食を作っているスタッフさんだからこそ、子どもたちが好きな給食のメニューを作るきっかけになったのだと思う。子どもたちにとって好きな給食のメニューが食べられることはとても嬉しいだろう。</p>	
<p>3. 課題・思い</p> <p>2月は中文化センターの改修工事のため、開催は中止になった。残念がる子どもやお母さんたちに「3月からまた開催します」と平野さんは伝えていたが、新型コロナウイルスの拡大によりしばらく開催できなくなってしまった。</p>	
<p>4. 感想</p> <p>平野さんから今回のレクリエーションであった折り紙を企画してほしいと依頼され、参加した。どうしたら子どもたちが楽しんでくれるのかとても悩んだ。私自身、折り紙をやるのは小学生以来だったため、基本から学び直した。折り紙や作り方の本は貸して頂いていたので家でたくさん折って練習した。当日は、食事が終わった子どもたちがお母さんと一緒に折り紙をしに来てくれた。折り方を教えたり、一緒に折ったりできて楽しい時間となった。子どもたちは折った後に動物の目を描いたり、ハートや星などを描いたりしてとても熱中していた。楽しんでもらえたので良かった。</p>	

子ども食堂 なかぶん

<p>1. 子ども食堂紹介</p> <p>場所：中文化センター</p> <p>代表：平野由紀子さん</p> <p>参加日時：2020年7月18日（土）11時から14時</p> <p>参加費：子ども100円（幼児は無料）、大人300円</p> <p>参加人数：47人（子ども17人、大人17人、スタッフ13人）</p> <p>献立：チキンカレー、わかめサラダ、さくらんぼ</p>	
<p>2. 食材・献立</p> <p>今回のカレーは、子ども用の甘口と大人用の中辛を分けて作られていた。使った食材の産地を載せて、情報を発信している。また、野菜の栄養素の豆知識などを掲載したチラシも配布している。食材の一部は近くにある味仙で安く仕入れ、名東ロータリークラブや久遠寺さんからはおやつを頂いている。</p>	
<p>3. 課題・思い</p> <p>新型コロナウイルスの影響により今年の3月から6月まで休止していたが、7月は一時的に再開することができた。休止中もFacebookで情報を発信し続けており、利用者は再開の目途などについて十分な情報を得ることができた。それでも平野さんは久しぶりの再開で人数が減ることを懸念されていた。そのため、トワイライトスクールに出向き、子どもを迎えに来る保護者に直接宣伝を行った。</p> <p>しかし当日は雨だったこともあり、通常の半分程の人数だった。少人数ではあったが、子どもたちが来てくれたことに平野さんは喜びを感じられていた。同時に、来月も開催できるのか不安もあるようだった。</p>	
<p>4. 感想</p> <p>子どもたちはご飯を食べた後、近くの公園でシャボン玉遊びをして楽しんだ。久しぶりにシャボン玉をする子どももいて、普段あまりやれないことができるのはとても良いと感じた。また、お母さんたちも子どもたちがはしゃぐ姿を嬉しそうに見ていたのが印象に残った。</p>	

子ども食堂 なかぶん（フードパントリー）

1. 子ども食堂紹介	
<p>場所：中文化センター隣の公園</p> <p>代表：平野由紀子さん</p> <p>参加日時：2020年11月21日 （土）13時から14時</p> <p>参加費：無料</p> <p>参加世帯数：34世帯</p>	
2. 食材・献立	
<p>中身はお米や食パン、そばの他、お菓子やフルーツなどが入っていた。1世帯に1袋配布された。大きめのビニール袋にたくさん入っていたため、想像以上に重かった。子どもがひとりで持って帰るのには結構大変な重さだと感じた。</p>	
3. 課題・思い	
<p>来られた人は、子どもたちだけや子どもがいるお母さんやお父さんだけで来る人など様々であった。事前に知って来る人が多かったが、平野さんたちの呼びかけで急遽来た人やたまたま公園に遊びに来た子どもたちもいた。</p> <p>開催までに時間がなく宣伝が十分ではなかったことやフードパントリーの形式が初めてであったため、人数は少ない印象だった。時間内に配布できなかった分は、近隣の小学校のトワイライトスクールに届けた。次回のフードパントリーではチラシの配布や呼びかけにより、宣伝を強化したいと話されていた。</p>	
4. 感想	

初めてフードパントリーに参加をし、コロナ禍でも子ども食堂以外で支援できるということを実感した日であった。運営スタッフの方たちも今回が初めての取り組みであったため、進め方に戸惑う面もあった。それでも、子ども食堂が開催できない状況をなんとか打開しようとしてフードパントリーという方法を取った。

お菓子やお米などたくさん入った袋を受け取った子どもやお母さんたちは、みんな笑顔で帰られた。支援を受けて喜ぶ方々、コロナ禍でも頑張って支援する方々とお会いできたのは良い機会だった。



コロナ禍のなかぶん

(一部、なかぶん Facebook より引用)

7月の開催では密を避けるため、3部屋に分かれて食事をしてもらった。また、ひとつの部屋に最大16名、スタッフは6名までと人数制限を設けていた。来客者の手やスリッパ、テーブルの消毒を徹底していた。この日のために中文化センターの係長さんとコロナの対策について念入りに話し合われたようだ。



名東ロータリークラブや新栄の久遠寺さんから頂いた支援物資を個別に分けて、子ども食堂当日に来たお母さんや子どもたちへ渡した。中にはお米もあった。お母さんたちはとても感謝していた。

オープン時は雨が降っていたがお昼過ぎに止み、近くの公園でシャボン玉をすることができた。ミニオンのシャボン玉は子どもたちに1つずつプレゼント。大きなシャボン玉もあり、子どもたちはとても楽しんでいました。



学習支援

1. 学習支援紹介
<p>参加日時：2020年7月14日 18時から20時</p> <p>場所：ユートピア第二つくも（守山区）</p> <p>回数：週2回 火曜日と金曜日</p> <p>参加人数：中学生7人、サポーター4人（大学生3人）</p> <p>運営：NPO 特定非営利活動法人 教育支援協会東海</p>
2. 目的
<p>対象者は名古屋市のひとり親家庭や生活保護受給家庭の中学生である。主な目的は居場所づくり、高校進学、社会性の育成、養育支援である。会場は名古屋市13区34か所ある。</p> <p>新型コロナウイルスの影響による3月から5月までの学校の休校に伴い、学習支援も同様の措置がとられた。この学習支援では毎年3回（8月、12月、3月）にお楽しみ会という催し物がある。それは、生徒とサポーターの交流を図ることを目的としている。協会からの予算内で、ピザやドーナツなどの軽食を食べ、クイズやなんでもバスケットなどのレクリエーションをして楽しめるイベントである。今年の3月も開催される予定だったが、開催することはできなかった。</p>
3. 感想
<p>会場であるユートピア第二つくもは高齢者施設であるため、以前からマスク着用は必須だった。入り口に検温の機械があり、各自そこで体温を測定する。施設の空いている部屋をひとつ借りて実施している。</p> <p>通常、サポーターひとりにつき2人の生徒を見る。私がこの日担当したのは、中学1年生の男子生徒A君と中学2年生の女子生徒Bさんだ。A君は理科と社会に取り組んだ。教材を持っていなかったため、会場で印刷できる学習プリントをやってもらった。一方Bさんは、翌日が定期試験ということでテスト勉強に励んでいた。学校で提出する理科や社会のカラープリントを仕上げ、分からないところをいくつか質問してくれた。終了前には学習記録とサポーターのコメントを毎回記録している。</p> <p>私はこの学習支援に大学2年生の夏頃から関わってきた。子ども食堂に携わった際に、学習支援の取り組みを知り興味を持ったことがきっかけだ。勉強を教えることに不安があった。しかし、ここでは単に勉強を教えるだけではなく、生徒一人ひとりに寄り添うことも重視している。そのため、私でも何か力になれるかもしれないと思い、サポーターになった。今ではとてもやりがいを感じている。</p> <p>また生徒の学校や家での話を聞いたり、私自身の中学校時代の勉強方法や学校生活について話したりできることがとても楽しい。生徒たちがやりたいことに取り組み、それをサポートできる点が塾とは異なる。学習支援に携わって本当に良かったと感じている。</p>